

東川辺地総合整備計画書

(平成31年度～令和5年度)

(第2次 変更)

高知県 安芸市

東川辺地総合整備計画

高知県 安芸市 東川辺地
(辺地人口 123 人、面積 129.6km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

入河内、黒瀬、大井、古井、島、別役

(2) 地域の中心の位置

安芸市入河内 565

(3) 辺地度点数

173 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は、伊尾木川に沿った急峻な地形にあり、90 世帯 123 人が生活しており、基幹集落である入河内をはじめ、ほとんどの集落が伊尾木川沿いに点在している。集落への道路は、幹線道路として県道大久保伊尾木線・奈比賀川北線があるが、幅員の狭い一車線が多く、入河内地区から市街地までは 30 分以上を要しており、救急時や住民の日常生活に支障をきたしている。当辺地の利便性や福祉、文化水準が向上し、各種振興策を図るためには、時間距離を短縮するための県道整備が必要である。

その他市道などが生活道として利用されているが、幅員が狭く、度重なる災害等により市街地との交通が分断され、生活に支障をきたすと共に、老朽化した橋りょうやトンネルもあり、安全な交通のための整備が急がれる。

また、林道については、森林資源の育成・保全是もとより、林業の生産性の向上、生産コストの削減等、林業生産活動の活性化のためにも整備が必要である。

このほか、難視聴解消のための施設整備、交通手段確保のためのバス車輛の更新、消防施設更新、地域経済活性化のための観光又はレクリエーション施設の改修などが必要である。

3 公共的施設の整備計画（東川辺地）

平成31年度から令和5年度まで5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
■道 路					
大久保伊尾木線	高知県	270,000	250,000	20,000	20,000
八ノ谷線	安芸市	216,750	150,000	66,750	66,500
川又線	安芸市	216,750	150,000	66,750	66,500
安明寺古井線	安芸市	144,500	100,000	44,500	44,500
古井別役線	安芸市	144,500	100,000	44,500	44,500
久々場線	安芸市	36,125	25,000	11,125	11,000
下久保線	安芸市	72,250	50,000	22,250	22,000
ノボリ線	安芸市	56,368	35,000	21,368	21,300
黒瀬線	安芸市	56,368	35,000	21,368	21,300
大井線	安芸市	56,368	35,000	21,368	21,300
奈比賀古井線	安芸市	31,000	14,430	16,570	16,500
■林 道					
江川別役線	高知県	275,000	247,500	27,500	27,500
カラ谷線	安芸流域森林 整備事業体	1,663	1,190	473	0
西又谷線	清水産業(株)	8,293	5,936	2,357	0
29号支線	清水産業(株)	6,528	5,384	1,144	0
■電気通信に関する施設					
共聴施設改修	共聴組合	540	396	144	100
■消防施設					
消防車両更新	安芸市	6,000	0	6,000	6,000
■住民の交通の便に供するための自動車					
元気バス車両更新	安芸市	11,930	5,964	5,966	5,800
■観光又はレクリエーションに関する施設					
こまどり改修	安芸市	5,270	0	5,270	5,270
合計		1,616,203	1,210,800	405,403	400,070